

## 全国都市再生モデル調査提案書(様式1)

応募団体名	やさしい街づくり推進委員会
担当者名	山岸弘樹(やさしい街づくり推進委員会委員長)
連絡先(電話番号)	045-921-9704
(E-Mail)	<a href="mailto:yamagishihiro@pep.ne.jp">yamagishihiro@pep.ne.jp</a>
推薦団体名	横浜市 : (事務連絡担当者)
担当者名	都市経営局政策課 山本豊: (都市経営局政策課 石原従道)
連絡先	045-671-4137 : (045-671-3927)
調査名	大規模ニュータウンのリニューアル
対象地域(市区町村名)	横浜市(旭区若葉台)
提案する活動の概要	
1) テーマ・課題	若葉台団地は第一期入居後24年を経過し、現在6,400世帯18,000人が住んでいる。しかし、他のニュータウンと同様高齢化が進み、機能低下と沈静化が進んでいる。そこで、高齢化社会でも活力をもって快適に効率よく生活できる対策と技術を調査・検討する。(添付資料1)
2) 活動内容の案	(1)コミュニティサービスの共通基盤を公共型、その上で動作するアプリケーションを企業型に整理して評価を行う。 (2)サービスプラットフォームとして、FTTH、無線LANを利用した地域内全域ブロードバンドユビキタス環境の実現法を検討する。 (3)ブロードバンド環境を利用した、国内外との映像コミュニケーションや、元気な高齢者による教育支援などのアプリケーションについて、フィージビリティの評価を行う。
3) 先導性等の アピール点	(1)高齢者や子供のパワーも活用するための、循環型ビジネスモデルを開発する。 (2)マイクロサーバ、Webカメラ、IP携帯電話等を利用して次世代の通信環境を構築し、新しいサービスを創出する。
期待される効果	(1)コミュニティサービスの事業化により、自治会等と事業者との共存・共栄が可能になる。 (2)マンモス団地間の連携と先進技術活用により共通の課題を解決し、米加連合大学、NPO、区役所等の協力により資源・人材の開拓、国際性等新たな価値創造が可能となる。
実施体制の整備状況	若葉台団地においては、自治会、福祉協議会、管理組合等でIT化を目指した「やさしい街づくり推進委員会」が設立されている(添付資料2)。今回は、NTT東日本、産総研、大学(米加連合大学等)、旭区役所等との連携と協力により、産官学民一体で取り組む。
本調査と関連する 過去の活動実績	若葉台団地は、「やさしい街づくり推進委員会」と若葉台団地内の自治会、福祉、教育、子供会、商店街、文化スポーツ等に関係する団体等の代表により、エリア内の活性化、より良いまちづくりの課題の抽出を実施し、ニーズをとりまとめている。(添付資料3)
関連する公共空間の 整備内容等	若葉台団地は、全棟に光ファイバー網を構築しており、今回の実地検証を行う素地ができている。

推薦団体は応募団体が地方公共団体でない場合のみ必要です。

全国都市再生モデル調査提案書（様式２）

	調 査 フ ロ ー
10月	<div>大規模ニュータウンのリニューアル</div> <div>↓</div> <div>コミュニティサービスのフレームワークの検討  1) 共通基盤に必要な機能の検討  2) 共通基盤の運用に必要な資源（人材、機材、資金）の検討</div>
11月	<div>↓</div> <div>アプリケーションの抽出と事業性評価  1) アプリケーション分野の体系化  2) アプリケーションの抽出  3) 事業性の評価</div>
12月	<div>↓</div> <div>サービスプラットフォームの検討  1) サーバ間通信方式の検討  2) Web カメラ等の設置場所の調査  3) 環境構築に必要な資源（人材、機材、資金）の検討</div>
1月	<div>↓</div> <div>実施検証（社会実験）  1) アプリケーションの選定（2～3件）  2) 検証環境の構築  3) 検証</div>
2月	<div>↓</div> <div>成果の取りまとめ  担当省庁への調査結果の報告</div>

# 「大規模ニュータウンのリニューアル」提案の概要

やさしい街づくり推進委員会

## 1. 想定するコミュニティサービスのフレームワーク

図1に示すフレームワークを基にして、共通基盤の機能および企業化アプリケーションを抽出評価する。

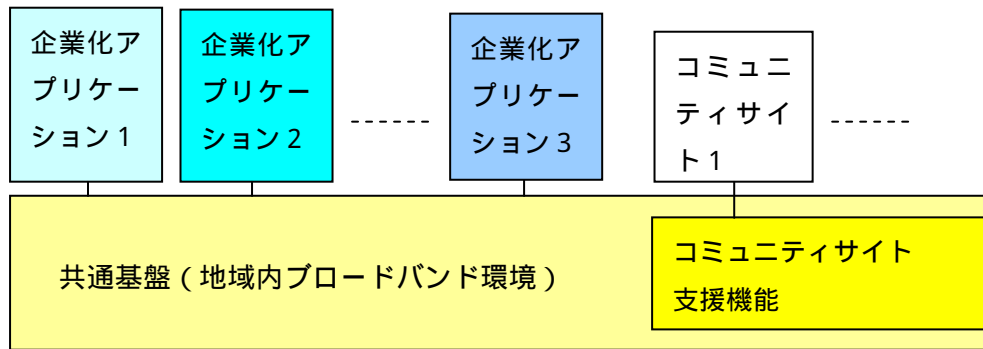


図1 コミュニティサービスのフレームワーク

## 2. サービスプラットフォーム

サービスプラットフォームとしてFTTHと無線LANを利用した地域内全域ブロードバンドユビキタス環境を構築する（図2）。これにより、さまざまなコミュニティサービスを提供できるようになる。ブロードバンド環境なので、若葉台団地より外の遠隔地との映像コミュニケーションなども可能になる。

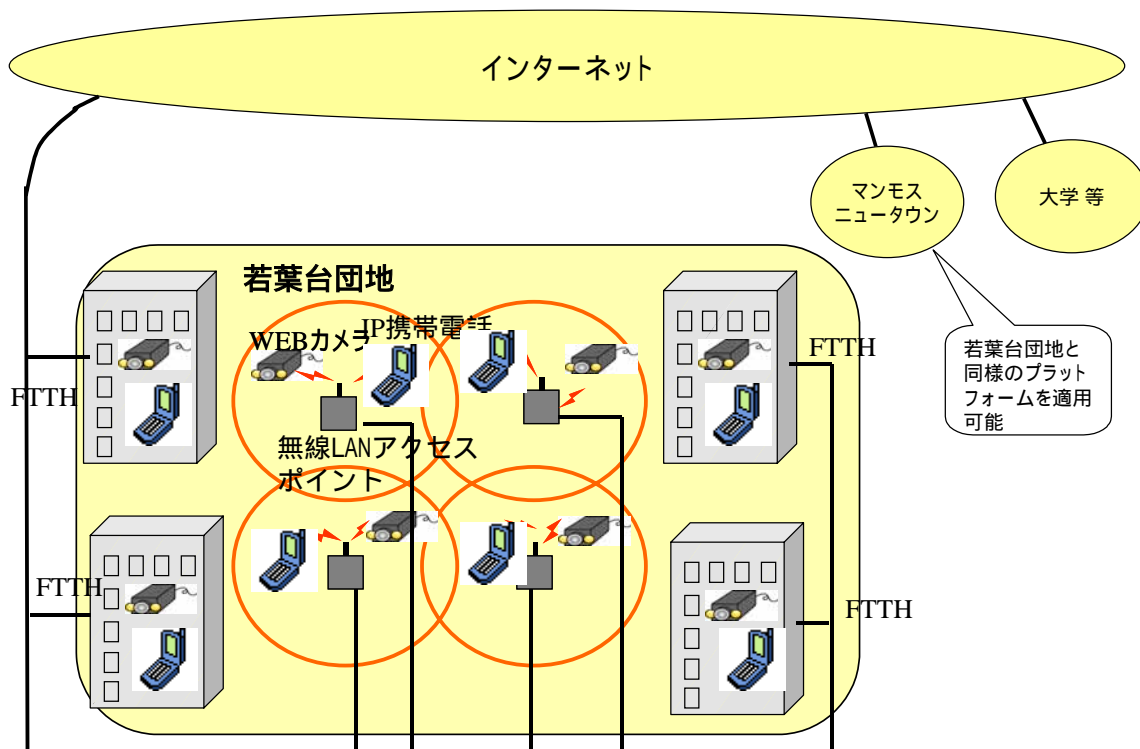


図2 地域内全域ブロードバンドユビキタス環境

### 3．実地検証(社会実験)

たとえば、次のようなコミュニティサービスのいくつかを選択して、サービスプラットフォーム上で実地検証を行い、フィージビリティの評価を行う。

国内、国外等の遠隔地との映像コンテンツを用いたコミュニケーション

元気な高齢者による教育現場の支援

小中学生による高齢者、障害者の買い物代行

元気な高齢者による高齢者、障害者の移動支援

コミュニティサービス運用時には、元気な高齢者、小中学生もコミュニティ活動に参加する循環型ビジネスモデルが構築できる（図3）。

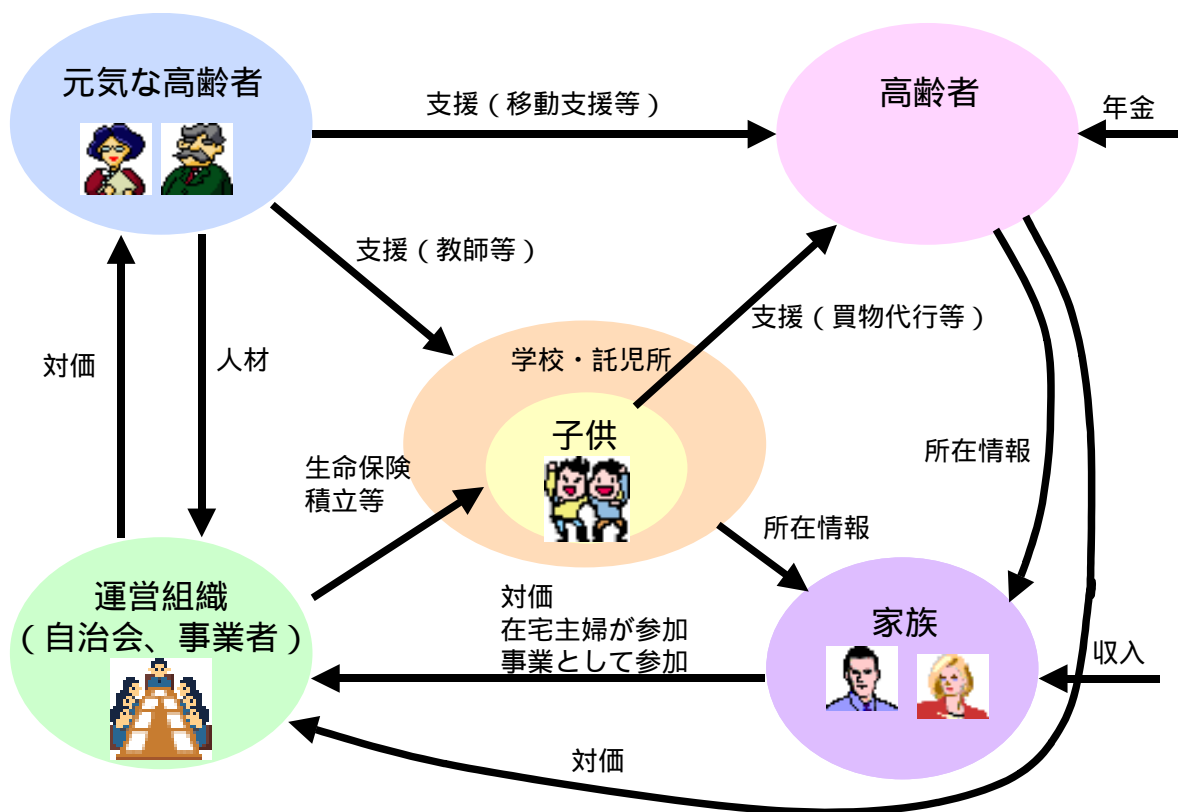


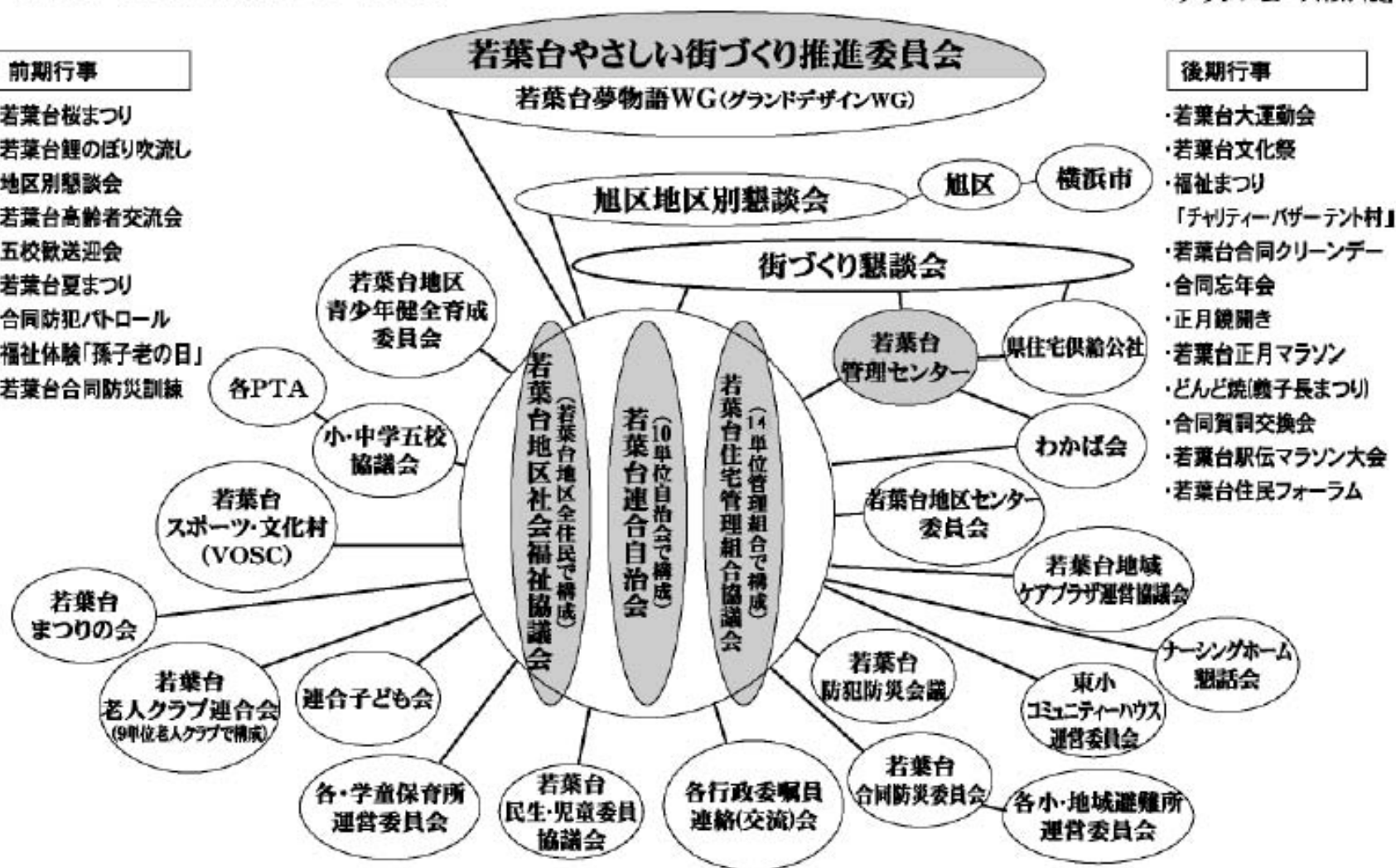
図3 循環型ビジネスモデル

6,500世帯、1万8千5百人の高層住宅団地(ピーク2万7百人)  
昭和54年(1979年)入居開始  
海拔80メートル、山林地帯90ヘクタール開発

コミュニティ誌：『みんなの若葉台』  
『タウンニュースわかば』

- ・若葉台桜まつり
- ・若葉台鯉のぼり吹流し
- ・地区別懇談会
- ・若葉台高齢者交流会
- ・五校歓送迎会
- ・若葉台夏まつり
- ・合同防犯パトロール
- ・福祉体験「孫子老の日」
- ・若葉台合同防災訓練

- ・若葉台大運動会
- ・若葉台文化祭
- ・福祉まつり
- 「チャリティーバザーテント村」
- ・若葉台合同クリーンデー
- ・合同忘年会
- ・正月鏡開き
- ・若葉台正月マラソン
- ・どんど焼(糰子長まつり)
- ・合同賀詞交換会
- ・若葉台駅伝マラソン大会
- ・若葉台住民フォーラム



## 「やさしい街づくり推進委員会」委員名簿(平成15年度)

	役名	所属団体名	役職名	委員名	住宅番号	電話番号	備 考 *チェック:自治会
1	委員長	若葉台連合自治会	会 長	山 岸 弘 樹	4-19- 504	921-9704	とちのき
2	委 員	〃	高齢者部担当副会長	清 水 正 勝	1-10- 608	921-0840	東
3	〃	〃	福祉担当副会長	大 野 清 志	4- 8- 102	922-2223	ゆりのき
4	〃	〃	福祉担当部長	百 瀬 文 彦	4-30-1303	921-8696	もみじ
5	〃	〃	事 務 局 長	加 藤 昇 司	4-23- 704	921-5529	とちのき
	WG 委員 サブ・リーダー	〃	理 事	長 沼 伸 行	4- 7-1301	922-1556	ゆりのき
	WG 委員	〃	副 会 長	豊田ます江	3-10-1203	921-1168	茜
6	アドバイザー	〃	広報部担当副会長	太 田 博 人	4- 3- 505	921-1230	西
7	委 員	若葉台地区社会福祉協議会	会 長	鶴 見 昌 弘	1- 2- 802	921-0517	第一
8	〃	〃	副 会 長	斎藤由紀子	2-22- 807	921-8281	南
9	〃	〃	副 会 長	堀 部 裕	3- 2- 207	922-2551	中央
10	〃	〃	事 務 局 長	小 村 竹 俊	2-16- 608	921-8322	北
11	委 員 WG 委員	〃	監 事	松 本 令	2-24- 302	921-6557	南
12	WGリーダー			堀 進	3- 9- 301	923-0437	第13住宅
	WG 委員	その後の集い		桜 井 茂		841-5133	
13	副委員長 WG 委員	若葉台住宅管理組合協議会	副 会 長	大 村 治 夫	2- 6- 705	922-0669	第4住宅
14	委 員	〃	会 長	柴 田 中 夫	1- 3- 508	921-1744	第一住宅
15	〃	〃	副 会 長	中 井 能 弘	4-14- 902	921-6767	第7住宅
16	〃	〃	施設専門委員	深 瀬 正 光	1- 7- 503	921-3292	第一住宅
17	〃	〃	施 設 委 員	木 村 廣 重	4- 4- 903	921-5830	第10住宅
	WG 委員 サブ・リーダー	〃	長命化・再生専門委員	田 中 匡	4- 5-1004	922-4070	第10住宅
18	委 員	若葉台管理センター	事 務 局 課 長	永 岡 明	3 - 5 - 2	921-3361	
19	WG 委員	〃	管 理 課 長	中 沼 好 博			

\* 欄の 数字の方は、ワーキング・グループ専門委員です。

区分		内容(ユニバーサルデザイン)	弱者 / 障害者	検討事項/メモ
人	幼児	保育事業 託児所の開設(中央バスターミナル区に) 一時保育所(時間、半日/一日)	24H対応の緊急一時保育	法規制
	子供	友達作り、友情を育む、自立心の育成、 「生と死」を常に見感じる生活を 子育て支援、地域の共育力を高め楽しく子育てを！(組織化/NPO)		
	成人	いつまでも若いエネルギーがあふれ、地域活性化に 「しつけ」の出来る自立した大人(親)		
	高齢者	生きがい、働きがい事業の育成(Ex.公園緑地管理技術/都市農業) 介護事業	痴呆防止に交流の場作り 買物代行、食事宅配	
	家族	皆んな「にこにこ」「うきうき」幸せに 団欒復活、家族ぐるみの交流プラン(事業化)		各セレモニー(冠婚葬祭)事業化
	地域社会	四世代がバランス良く住みふれあう街、にぎやかな街、 若葉台マイスター制度、人材バンク(ネットワーク) 全員「あいさつ」一声運動宣言の街、「関心」は持つが「干渉」はしない街	「心」のバリアフリー	ゾーン分割
食		将来(健康と長寿)の食生活のあり方指導( 生理的 精神的 社会的 文化的 教育的機能)	高齢者/弱者専用宅配弁当ショップ	
		自家生産体験、エリア作り	Ex.バリアフリー喫茶店「昭和浪漫倶楽部」	周辺の田畑を借用(購入)
生物	植物	四季おりおりの花いっぱい運動「花街道」、桜並木通り(中央地区～現販売センター)保育 緑地保全、観賞ツアー事業		
	動物	動物(犬・猫)と遊べる(小動物公園)、渡り鳥等鳥類の生息する森林地に	いやしのペット(犬)散歩代行業(JTL)	ペット飼育の解禁(躰、マナー)
自然環境	森/緑	周辺自然環境の保全(南側傾斜地、里山、等緑被率の確保と緑地管理NPO)		
	川	源氏ボタルの生息する(保全)きれいな源流、小川アメニティー(帷子川源流の保全) いい水のある「河のそばに人は住む」		
	池	いろいろな魚の住む遊水池、渡り鳥の飛来する遊水池 遊水池上に橋とステージ(おどり場)設置、 周辺、歩道整備と開放		
	空	きれいな空、おいしい空気。(CO <sub>2</sub> 排出抑制、屋外分煙、路上禁煙条例、ディーゼル車運行規制) アイドリングストップ運動と低公害車利用	電気自動車(ハイブリッド)	自家用車数の規制
施設	公園	遊具(アスレチック他)他多様な施設を。しばふの広場(アスファルト、タイル化を改良) 各公園管理ネットワーク(地域内全体で) 地区公園山頂に展望施設	バリアフリー(車椅子で入れる)	
	住宅(棟)	ユニバーサル住宅(たて導線の確保) 終の棲屋を目指す 建物の長命化・再生化 三世代の居住可能な設備、しくみ作り (近居、隣居)	エレベーター、車椅子移動可 弱者の為のグループホーム(空家活用)	優良マンション認定・登録制度
	公共施設	行政サービスコーナー、保健所窓口の設置(電子行政2005年完) 地区センターの改装、防災センター、情報センターの一元化 学校の空室(廃校舎)再活用(Ex.宿泊型体験学習施設・老人福祉、社会教育、リハビリ施設)	介助ロボット	} 中央地区のリニューアル
	商業施設	多目的ホール(ライブラリー/コンベンション施設付若葉台フォーラム) 国際的なセミナー・シンポジウム・展示会カンファレンス等のコンベンション都市に ショッピングタウンの巨大化 身体差、ライフスタイル変化に対応したリニューアル 全天候型広場(テントドーム)、地下コンコース(住民コンタクト)24H型商業区	託児室(一時保育)、バリアフリー 副音声ガイド、付き添いサービス バリアフリー、車椅子用レジ 一時保育所 介助ロボット	
	道路	照り返しの少ない舗装・低騒音対策舗装道路・動く歩道 遊歩道の整備、車道・歩道・車椅子道の分離拡張 地区外車両の乗り入れ規制 事故の無い街(道路の整備) 横断歩道と信号機	「福祉のたまりば」「福祉関係店舗」 空き店舗活用 車椅子可能な遊歩道(車椅子仕様)とたまり場 遊歩道の途中に休憩用ベンチの設置	
	駐車場	来客者用駐車場の拡充		
	交通	バス停留所の整備(広告塔を兼ねたサロン&インフォメーションターミナル)全天候型、テポスト 環境配慮型フリーストップ若葉台循環バスの運行 新交通(環境配慮型)のパークタウン駅誘致 電機自動車・排ガスの無い街	バリアフリー(車椅子) バリアフリー	規制緩和 住民送迎代行
	健康	「心」と「からだ」の健康事業化		
	医療/医薬	在宅医療、在宅介護に対応の住診可能な医療機関		
	看護	地域ケアプラザの活用 トレクォーレ横浜若葉台の住民サービスの推進		
	全般	人と建物と植物の調和 (屋上緑化、施設の外観:色彩計画-景観デザイン) 順路表示(誘導板)設置、団地案内表示を大きく見やすく改訂・号棟ナンバーを建物の二箇所に表示 各号棟の夜間ライトアップ ストリートファニチャーのデザイン計画		ビル風対策
教育 / 文化	家庭教育	早寝の子は非行に走らない。自立、生命力をつけさせる。 ボランティア活動の充実などで「やさしく、強い子供」を育てる。		
	学校教育	小学校、中学校、高等学校の一貫教育、e-ラーニング 市民参加型の学級、施設の開放		「学童保育」と「はまっこふれあいスクール」の総合検討
	地域教育	グローバルな街づくり、グローバル教育(国際交流)、フリースクール 「知」の集積、周辺大学と協力(ネットワーク)し人材の吸引や育成	老後のおだやか慶和会と集会所	
	エンタテイメント・遊他	地下のプラネタリウム、博物館、ミニシアター 地下遊技場(防音施設)		
	スポーツ	スポーツランド 若葉台スポーツ&レクリエーション大会		
	芸術/文化	若葉台文化祭、文化フォーラム(国際的)発信 音楽堂・若葉台第九を歌う会他多様なサークル育成		
インフラ(新ライフライン)	水道(水源)	水源の森林づくり 災害時の飲水確保		
	電気(電源)	太陽(ソーラー)発電・風力発電(地球温暖化対策、有事の自家発電) 災害時の電源確保(大型蓄電) 地域内エネルギーの確保		
	ガス(熱源)	災害時の熱源確保、代替燃料の備蓄		
	情報(々源)	全戸光回線利用の管理センターを中心に双方向コミュニケーションシステム(CATVとの統合) 若葉台LAN化と専用ホームページ(ポータル)運営をし地域内の個人、各組織HPをリンク	地域ネット基盤整備事業(eまちづくり交付金)認定	「eタウン実証実験」Ex.広島市 WWW WWM(メッシュ)Ex.光が丘パークタウン
セ&キ生ユ活リスケイマネジメント	廃棄物	ポイ捨て、ゴミの無いきれいな街(ごみの資源化、減量化、リサイクル) 環境ISO-14001認証取得地区(村)		
	安全(安心)	非常通報の設置、安全パトロール隊の設置と強化	徘徊ネットワーク 一人暮らし、よびよせ老人ネットワーク	
	防犯	「交番」「消防署」と連携し情報システムの整備 目、耳、口が最大の抑止力、市民全体で体制(ネットワーク)作り 「声」かけ運動、 街及び棟入り口にメッセージ表記		
	防火	パトロール(ネット)体制 高層階消火確保		
	防災	避難誘導体制確保 避難所ネットワーク	障害者誘導ネットワーク	
	リスクマネジメント(有事)	・防災センター(情報センター)を中心に地域全体で体制作り(各避難所委員会とも) ・市指定の広域避難所地区として常時環境整備 インフラの確保		
	その他	マンションに墓地在れば「ふるさと」ができる 地域周辺に市営の公園墓地 若葉台地域通貨(世話やき度)の発行 姉妹都市交流 全国若葉台ネット、全国街づくり団体ネット		